

# 管理所レビュー VOL.04

(R4.6.7 水源林管理所)

令和4年度、第4回のボランティア活動が、5月21日(土)に予定どおり実施されました。

当日は、朝から雨が降ったり止んだりの雨模様の中、通常通りに間伐作業を開始することができました。

しかし、13時頃からは雨が激しくなったため、残念ではありましたが、作業を切り上げ早めに終了することとなりました。

関東甲信地方は梅雨入りし、これからは雨の降りやすい季節となります。突然の雨にも対応できるよう、雨具や着替えを用意してご参加ください。また、濡れた林内は大変滑りやすくなりますので、移動時も含め、作業中は足元に十分注意をお願いいたします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

## 1 活動当日の様子



鳥の胸山に低くかかった雲。



準備体操でしっかりストレッチ！



始まりの会で体調確認を！



枝払いは出っ張りを残さない。



受け口の切り込み具合の確認を。



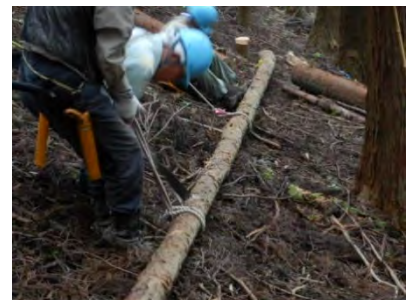
追い口も切り込み具合の確認。



ノコギリで土を切らないように！



支え枝を切断する時は注意して！



材の転落防止に補助ロープ！



傾斜地の浮いた材の処理は要注意！



伸びのある木の伐倒は十分注意して！



## 2 再確認！受け口・追い口・切り残し（つる）。

### ●受け口切り

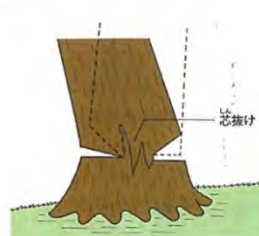
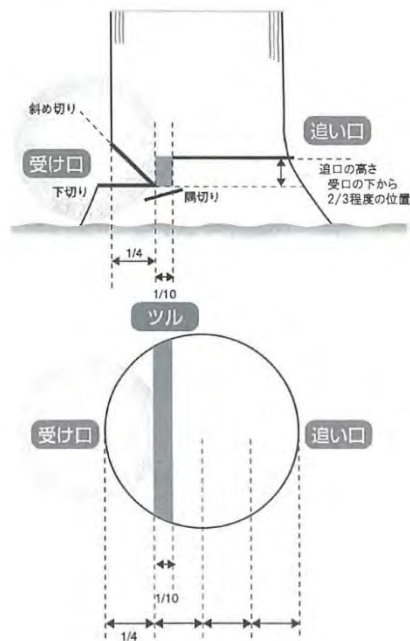
- (1) 受け口の下切りは水平に切り込み、深さは、根張りを除いた伐根直径の1/4程度とすること。ただし、大径木は、根張りを除いた伐根直径の1/3程度とすること。
- (2) 受け口が浅く小さいと、わずかな接触や強風で伐倒方向がずれるおそれがあります。特に大径木の受け口切りは、斜め切りの角度が小さくなりがちです。やや大きめの受け口を作ること意識しましょう。
- (3) 受け口の斜め切りは、下切りに対して30～45度とすること。
- (4) 受け口の下切りと斜め切りは、終わりの部分を必ず一致させること。

### ●追い口切り

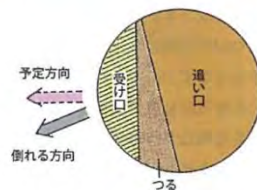
追い口切りは、受け口の下から2/3程度の位置を水平に切り込むこと。追い口が低すぎると芯抜けが起こり危険です。

### ●切り残し（つる）の機能と影響

- (1) 切り残し（つる）の機能
  - ① 伐倒方向を確実にします。② 伐倒木の安定を保ちます。③ 伐倒木の倒れる速度を制御します。
- (2) 切り残し（つる）の影響。
  - ① 切り残し（つる）が薄い方が早く離れ、厚い方に引っ張られます。
  - ② 切り残し（つる）が低い方が早く離れ、高い方に引っ張られます。

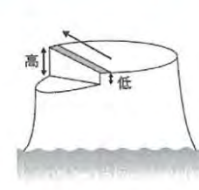


切り残し(つる)幅の影響



・つるの厚い方へ引っ張られる

切り残し(つる)高の影響



・つるの高い方へ引っ張られる

「林災防・改訂初版チェーンソー作業の安全ナビ」

「全国林業改良普及協会・伐木造材のチェーンソーワーク」より一部抜粋

※ 参考に大径木の受け口切りも掲載しています。(大径木とは、幹の直径が70cm以上の立木をさします。)

## 3 処理出来なかったかかり木は・・・。

今回、急な雨で作業終了となり、処理が未完了なかかり木が発生しました。作業終了直後、管理所職員で立入禁止措置を行い、安全を確保したうえで、翌日処理を行いました。

かかり木が発生した場合は、放置せず速やかに処理することが基本ですが、やむを得ず放置する場合は、危険区域に他の作業者が立ち入らないよう、立入禁止措置を行いますので、今回のような場合や会の皆さんで処理が難しい場合などには、無理をせず、管理所職員に報告をお願いします。



立入禁止措置実施の様子

※ 次回、6月8日（水）は、くもり一時雨、最高気温17度の予報となっています。

★それでは次回6月8日、気をつけてお越しください。